



HANDA CUP 第54回全日本女子プロ選手権

12月15~17日 / 東大和グランドボウル

土屋佑佳 再始動の“初”タイトル

今季もJPBAの1年を締めくくる大会となったHANDA CUP『第54回全日本女子プロボウリング選手権大会』は、2011年に一度退会后、2022年のプロテストに合格して再デビューの土屋佑佳(54期・相模ファーストレーン)が、復帰後初タイトルを獲得した。(主催：(公社)日本プロボウリング協会／一般社団法人国際スポーツ振興協会)



▲退会前の2009年、関西オープンで1勝している土屋だが、「2度目の初優勝です」の表現に、復帰までの11年のさまざまな思いがにじんでいた

は4、6フレとスプリットでつますいた。9フレまでの9連発で、すでに勝負は決していたが「どうしたらいいんだろうと、わけのわからないゾーンに入っていた」と振り返った土屋。パーフェクトも期待されたが、「ちょっと欲しかった」10フレ1投目は⑩を残す9本カウント。しかし278のビッグゲームで、復帰初年度の全日本女王に輝いた。



▲素手へのアジャストに苦しんできた寺下「今年1年はダメなんじゃないかと思った時期があつて苦しかった。でも最後がこれだったので、また頑張ろうと思った」

予選Part I (12G)、Part II (6G)、Part III (6G)、準決勝(9G)と、それぞれに異なるオイルパターンの3日間を投げ抜いてトップシードを獲得したのは、リスタイが禁止になる前の2019年10月のJPBA★SS Sカップ以来優勝から遠ざかっている寺下智香。2位は最後の優勝が2015年までさかのぼらなければならない名和秋。3位には11年ぶりにJPBAに復帰した土屋佑佳。そして2年前のこの大会で、同じ4位残りからまくって初タイトルを獲得した小林よしみ。それぞれに事情こそ異なるが“カムバック”をかけた4名が決勝ステップラダーに進出した。

4位決定戦

2、3フレのベビースプリットをナイスカバーの小林が、4フレから初のダブルを持ってくると、土屋は④⑥のスプリットでオープン。一気に引き離したい小林だったが、6フレは③⑥⑩を残すと、「あれで流れが相手に行ってしまった」と悔やんだカバーミスでオープン。7フレからオールウェーを決めた土屋が勝ち上がった。

3位決定戦

ともにストライクでスタートした3位決定戦だが、名和が4フレをスプリット、6フレはワッシャーでオープンを作れば、土屋も5、6フレをスプリットで連続オープン。「あのゲームが土屋さんがいちばんアジャストに迷っていたと思うので、自分がもう少し冷静に投げられれば勝つチャンスがあったと思う」と悔しがった名和。一方土屋は「替えるボールを思い浮かばなかったので、1~2枚外に出て飛ばしにいった」策が功を奏し、7フレからのダブルで突き放した。

優勝決定戦

土屋が3フレからダブルを持ってくると、寺下も4、5フレのダブルで譲らず互角のまま終盤勝負へ。「もっと早くボールを替えるべきでした。しのぎ



▲会場が東大和に移ってから予選通過は初の名和「初めてここまで上がってこられたけど、最後のゲームは後悔が残っていません」

合いになると思ってちゅうちよしてしまった」と悔やんだ寺下。8フレをストライクのあとの9フレは「ちょっと厚めではあったけど、倒れてくれ…」の願いも届かず⑨が残る。一方土屋もダブルを狙った8フレは「ここで持ってくれば…と思ったら、力んでしまう悪い癖が出た」と7本カウント。しかし9フレからのターキーで振り切り、再決定戦に持ち込んだ。

再優勝決定戦

ともにダブルスタートのあと、土屋が3フレ以降もストライクをつなげたのに対し、寺下

今月の表紙

優勝・土屋佑佳

TV決勝のレーンは、準決勝で入ったときも220ぐらい打っていたし、私は難しいというイメージはなかった。ライトが当たっているから遅くなっているかなと思ったけど、そうでもなくて、先入観を捨てて自分の感覚を大事にしようと思って投げていました。ただ緊張しすぎて、まったくうまく投げられなかった。運が味方をしてくれなかった。準決勝でも投げミスしたのが割れなかったり、ストライクになってくれたり、④⑥⑩のスプリットを取れたり…。一緒にボックスの霜出佳奈ちゃんに「何かいますね」って言われたぐらい、ついているなというのは感じていました。

今年テストに合格して復帰してからは、うまく投げられないし、もちろん結果も出ない。ただ遠くに投げに行き帰って



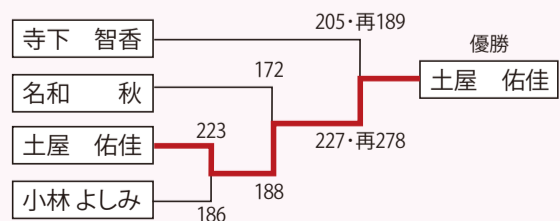
るみたいな感じで、まったくボウリングが楽しくなかったんです。それをAPAカップぐらいから、とにかく楽しくボウリングをしようと、気持ちの持ち方を変えたら、ちょっとずつ成績も上向いてきた。それにしても自分がこの全日本で優勝するなんて、ヤバイ、信じられないです。本当にこんな日がくるとは想像していなかった。

優勝ボール：STORMピュア・フィジックス

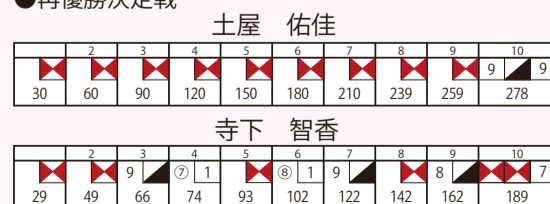


▲「これを逃したらまたいつチャンスが巡ってくるかわからないよと思って投げたけど、もっと練習してまたあの場所に立てるよ」と小林

●決勝ステップラダー



●再優勝決定戦



●優勝決定戦

